

雑誌月間にちなんで 会長とロータリーの友

ロータリーの友

地区代表委員 上 敏郎 (大阪城南RC)



4月はロータリーの雑誌月間です。この月間は、ロータリーの雑誌に対する会員の認識を深め、それによってロータリーの情報の普及を図ることが目的です。

「ロータリーの友」は日本のロータリーが2地区に分割されたとき、分割後もお互いのことを知っていたという思いから両地区共通の雑誌として発刊が決まりました。創刊号は1953年1月号で横組みでした。その後現在のようにヨコ組タテ組に分かれた編集になったのは1972年1月号からです。そして、1980年7月からRIの公式地域雑誌に承認され今日に至っています。横組みにはRIの指定記事、特別月間の特集などロータリーの地域雑誌としての公式的な記事が中心です。縦組みには日本のロータリアンのコミュニケーションに役立つ記事が掲載されています。横組み巻頭には、RI会長のメッセージが毎月掲載されています。価格は210円、3月号の発行部数は9万6千部です。

ロータリアンの三大義務の一つに雑誌の講読があります。日本のロータリアンは会員の身分を保持する限り、「ロータリーの友」を購読する義務を負っています。しかし入会するとき「友誌」の支払いは了承しましたが、必読であるという説明が不十分であったのか、あまり読まれていないようです。そしてそれを問題にする意識も低いと感じています。

雑誌月間には、友について考え、友を有効に活用することについてご協力をお願いします。

まず、会長から、「ロータリーの友」を読むことは会員の義務であることを、あらためてお話いただきたいと思えます。

雑誌月間中に会長から「友」についてなんでも結構です日ごろの感想でも話していただけませんか。併せて雑誌月間以外の特別月間には、担当の委員長から

「友」に特集された記事の紹介を是非お願いします。「友」の掲載記事をテーマにフォーラムを企画もご検討いただきたく思います。「友」が会員の情報の機軸になることでRIの方針や特別月間についての理解も深まりクラブの活性化につながると思います。

「友」についてこれまでのように雑誌委員長任せから、クラブの会長・幹事それに各委員長も分担していただき、例会で「友」に掲載された記事の内容について機会あるごとに取り上げていただくようお願いいたします。時には先輩からの解説も加えていただければ、入会の浅い会員にはより理解が深まると思います。

皆さんで分担していただいた分、雑誌委員長は自クラブの活動状況や、「友」に対する会員の意見や提言などの収集により時間を割いて下さい。「友」の編集部もそれを歓迎していると思います。

会長が例会で「今月の友には…」と話していただくことで、会員の「友」への関心は変化すると思います。「見直しを進め、新たな第一歩を」は、本年度のガバナー方針です。クラブ会長はじめ役員の方々のご理解とご協力をお願いします。

友の豆知識

- RI指定記事というロゴ付の原稿があります。これはThe Rotarianの記事で、指定されたものを翻訳して掲載しています。これは義務付けられています。
- 会員以外向けの広報誌として「Rotary 世界と日本」を発行しています。10冊で525円です。
- 会員勧誘用の広報誌としては、「Rotary あなたも新しい風に」を発行しています。5冊420円です。
- ロータリーの友編集委員会の名称が変わります。編集という文字を削除して、「ロータリーの友委員会」に変わるようです。